とみなが秀一 政策研究会だより

豊明市議会議員に当選

所属会派は　新風とよあけ」

4月26日に行われた統一地方選挙で、定数20に対して、35人が立候補するという激戦の結果、ご支持下さった皆様のおかげをもちまして、豊明市議会議員に初当選させて頂きました。会派は「新風とよあけ」。所属議員7名で、最大会派となりました。

ひまわりバス　利用しやすく

最初の質問機会は、6月8日新市長の所信表明等に関する代表質問でした。

私は、公共交通網の拡充について、すでにあるひまわりバスをいかに活用してゆくのか質問。

初めて利用しバスを考えた方が、豊明市のウェブサイトに明記されたバスの路線図をと時刻表で調べようとしたが、非常に迷いやすく、利用しにくいと指摘。

例をあげながら、実用的な回答を求めました。

市長は、「すぐやります」と答弁。事前に無料で登録できることを確認し、連絡先と担当者を調べて、質問後に渡しました。

7月20日現在、ジョルダンでは検索できるようになっています。NAVITIMEは作業中です。

ジョルダンなどの乗換案内でひまわりバスは出てきません。日進市や東海市、豊田市、豊山町などのコミュニティバスは検索できるため、登録をお願いする考えはないか質問しました。

市長は、「すぐやります」と答弁。事前に無料で登録できることを確認し、連絡先と担当者を調べて、質問後に渡しました。

7月20日現在、ジョルダンでは検索できるようになっています。NAVITIMEは作業中です。

また、今はパソコンや出発点と目的地を入力して時刻やルートを調べる人が多いにもかかわらず、NAVITIMEやジョルダンなどのスマホで、

向の矢印を図に書き入れるなど、分かりやすくできるようにしたらどうか聞きました。

経済建設部長は、「すぐやります」と答えました。

ましだが、7月20日現在、まだ変わっていません。

安全保障法制　マイナンバー制度　意見書可決

5月15日に国民的合意の見直しを行わない安全保障法制の強行採決をに対し、多くの国民が疑問を感じている中、

意見書では、立憲主義の日本において、憲法に定められようとしていることは自明であり、国民的合意のない安全保障法制の強行採決を問題視したものです。

意見書は、「国民的合意の見直しを行わない安全保障法制の強行採決に対し、多くの国民が疑問を感じている中、国民的合意の

財源確保につながる自治体の発電・電力事業

メリット大きい発電事業

6月11日の一般質問で、財源確保のため市が主体的に発電事業を行うメリットはないか聞きました。

豊明でも学校の屋上に太陽光発電が行われるなど、終末処理場跡地などを貸しているだけでは市民よりビジネスを行う自治体に変わる動きが広がっています。

自治体の場所や土地を貸すだけで年間数十万円の賃借料が入ってきます。

自治体に収益がでるよう、市民サービスを向上させる動きが出てきました。

豊明市の例では、群馬県太田市のソーラー市営合計4000kW持ち、年間約2億4000万円の売電収入があります。

群馬県中之条町は資金調達の問題が、市が行う場合、リース形式も可能だったでしょう。

富の流出を防ぐ電力事業

自治体が電力会社から電気を買う形ではなく、自治体が発電事業を行う方式の広がりを目指して準備中です。

（答弁）市長は、10年位で財政収支とスパンで考えて、市の財政収支とのバランスを採算が合うようにしたい。」との答えでした。

送迎保育ステーションの設置は？

一般質問で、送迎保育ステーション設置の考えがないか聞きました。

市内の保育園は７時半から遅い所で19時まで。これでは名古屋の中心地で朝８時始業や18時終業の会社に通えません。

10年前から駅前2か所に同ステーションを導入した千葉県流山市では朝７時から預け、夜は21時まで引き取れます。子どもは市内の保育園に送迎するので小さな施設で可能です。

同市では人口２万人増、市税収入２割増を実現しています。

(答弁)市長は「駅前保育所の実現を優先させたい。」との答えでした。

埼玉県桶川市にある日本初の水上メガソーラー

計画から半年で月数百万

水面メガソーラー増加中

（答弁）財源確保の基本方針を策定した。

（総合研究）経済建設部長の答えでした。

発行者:とみなが秀一政策研究会
〒470-1152
豊明市前後町仙人塚1752-27
Tel 0562-95-2005
ブログ http://otomitv.seesaa.net/
随時更新中
Twitter ID otomi.tv
eメール eco@otomi.tv

会報配布等お手伝い下さる方募集中

質問ダイジェスト

6月16日議案質疑

6月22日建設消防委員会

6月25日竹野園駐車場拡張工事

市立図書館のエレベーター